

北海道大学低温科学研究所共同利用研究集会
「気候変化に伴う質量収支と氷河変動に関する研究」

8/21(月)9:00～8/22(火)16:20 施 北海道大学 低温科学研究所 3F講堂

8/21(月)

座長（午前）：縫村

9:00-9:10 低温研所長あいさつ（江淵直人）

9:10-9:15 趣旨説明および事務連絡（縫村崇行）

9:15-9:45 藤田耕史（名古屋大学）
全球の氷河変動の将来予測－GlacierMIPへの取り組み

9:45-10:15 坂井亜規子（名古屋大学）
アジアの氷河変動の要因と氷河の気温に対するsensitivityについて

10:15-10:25 休憩

10:25-10:55 渡辺 恵（東京工業大学）
山岳地域における気象外力データの改良（仮）

10:55-11:25 縫村崇行（千葉科学大学）
（仮）アジア高山域全域を対象とした氷河質量収支の高度分布の地域特性について

11:25-11:55 竹中修平
kinematic-ELAの自動抽出

11:55-13:25 昼休み

座長（午後）：榊原

- 13:25-13:55 永井裕人（JAXA）
ブータン氷河湖の短期間面積変動について
- 13:55-14:25 大田晃三郎（名古屋大学）
SfM技術による1970年から2016年のネパール・ヒマラヤのクンプ地域における氷河変動
(仮題)
- 14:25-14:55 砂子宗次朗（名古屋大学）
ネパールヒマラヤ，トランバウ氷河におけるデブリの熱特性観測結果(仮題)
- 14:55-15:05 休憩
- 15:05-15:35 佐藤洋太（名古屋大学）
秋のトランバウ調査の計画とデブリの熱伝導率測定実験について（仮）
- 15:35-16:05 佐々木織江（東京工業大学）
中央ヨーロッパにおけるデブリ被覆を考慮した氷河融解モデルの構築
- 16:05-16:15 休憩
- 16:15-16:45 漢那直也（北海道大学）
グリーンランド北西部ボードイン氷河前縁部における海洋観測
- 16:45-17:15 福本俊吾（北海道大学）
グリーンランド北西部ボードインフィヨルドにおける氷山の分布と移動
- 17:15-17:45 山根志織（北海道大学）
南極ラングホブデ氷河末端部の変動
- 18:30- 懇親会：

8/22(火)

座長（午前）：砂子

- 9:30-10:00 藤田耕史（名古屋大学）
今後のヒマラヤ研究について
- 9:30-10:00 齋藤冬樹（JAMSTEC）
氷河(流動)モデリングの現状と課題
- 10:00-10:30 橋本 明弘（気象研究所）
JMA-NHMを用いた高解像度気象数値実験
- 10:30-11:00 庭野 匡思（気象研究所）
NHM-SMAP領域気候モデルによる表面質量収支計算（仮題）
- 11:00-11:10 休憩
- 11:10-11:40 阿部隆博（JAXA）
（仮）ALOS-2/PALSAR-2によるユーコン地域における氷河流動観測
- 11:40-12:10 Muhammad Usman（北海道大学）
Seasonal and interannual variability in velocity and frontal position of Siachen Glacier
(Eastern Karakorum) using multi-satellite data
- 12:10-13:40 昼休み

座長（午後）：阿部

13:40-14:10 杉山 慎（北海道大学）
パタゴニア・グレイ氷河におけるカービング端の直接観測

14:10-14:40 山本淳博（北海道大学）
南パタゴニア氷原・グレイ氷河における後退と基盤地形の関係性

14:40-15:10 波多俊太郎（北海道大学）
合成開口レーダーで捉えた南パタゴニア氷原PioXI氷河の流動速度の時空間変化

15:10-15:20 休憩

15:20-15:50 榊原大貴（北海道大学）
グリーンランド北西部における海洋性溢流氷河の季節的流動変化（仮題）

15:50-16:20 浅地泉（北海道大学）
グリーンランド北西部ボードイン氷河における末端位置の変動と海底地形の関係